

『進歩』

現代文化社発行

昭和九年六月～昭和十年七月（全十四冊）

スポーツの政治性／何が民族主義の「復興」
か
眞の文芸復興とは何か？／ゴーリキイとセラ
ラフaimo－ウイツチの論争

学生控室 自由主義研究会生る（法大文科生S）／安政生れの大学生（日大KY生）

広告（＊中山耕太郎『新支那読本』）
六月の映画

第一巻第一号 昭和九年六月号 一日発行

—創刊号—

「自由主義者」の進歩性と反動性

戸坂潤
N・I・S

世界史を飾るユダヤ系の偉人

トピック欄

片眼の作業／日本の学者が恥をかいた話

N・I・S

弘法大師も取持たなかつた縁 —故直木三十

戸坂潤

五氏と私

千葉亀雄

不安時代の文学について

瀧川政次郎

坪内土行

戸坂潤

日本の戦争文書 —主として平田晋作の戦争

貴司山治

お上りさんの感想

戸坂潤

大阪にかへつて

戸坂潤

「葡萄の葉と科学」を読む（＊転載）

杉田直樹

新しき児童文化の建設 —ソブエート同盟児童の校外教育—
広告（＊『週刊時局新聞』）
読書室 「日本文化の再検討」を読む
最近文芸の動向を語る 新進婦人作家座談会

新島繁
高季彦
本山荻舟

船山信一
窪川いね子

松田解子
小坂たき子

木下歌子
若林つや子

O

S

F

木下歌子
若林つや子

O

第一卷第一号 昭和九年七月号 一日發行

自然是藝術を模倣する

読書室 能智修弥氏著 「婦人問題の基礎知識」

を読む

新庄嘉章

女性の肉体についての社会科学

文化時評 東郷元帥の長逝／ソ同盟の太陽熱

岡邦雄

応用

婦人雑誌に就て —或る理想主義者の回顧—

大下晋平

朝／鮎

(*詩二篇)

戸川貞雄

江戸のブルジョア（三越の開祖）三井八郎兵

木下歌子

衛高利

田村栄太郎

小林雄一

津田政男訳

N · I · S

漬職の話 —この社会にどんなにして起るか—

金井繁

藤田嗣治

高季彦

新進批評家エグチ・ワメク／一人三役のヴァ

R · R · R

蘆原英了

後藤朝太郎

愚全洞人

R · R · R

芝居月評

夏と旅

支那山寺の客堂

思想界新人評

舞踊評

映画紹介

新たに再組織されるソヴェート作家同盟の規約

ソヴェート作家同盟組織委員会／本間七郎訳

座談会 東都各大学の現勢を語る

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

(慶應)

川口三郎

(文化学院)

大原次郎

(早稲田)

田村信吉

(第二早高)

山口一夫

(帝大)

高田哲夫

(立教)

大橋次郎

(上智)

吉田良三

(法政)

村上敏夫

(法政)

鈴木元三

(慶應)

大村良一

東京市内二人行脚

漫文・世田三郎／漫画・加藤悦郎

文化時評

ヒツツラーの蛮勇／『高僧』の取引所進出

／瀆職校長の自殺

仏誕二千五百年祭論争／日本一健康児童の選出

吸取紙

映画

偶像が多過ぎる

舞踊 「トウランドツト姫」と「薔薇の騎士」

音楽

樂壇時評

演劇 七月の三座

中軍再び舞台に現る／花柳等富士見町で敗北

とんだ饅頭

ソヴエート同盟のアルコール征伐

棚へあげた話

フランス人と個人主義

僕の夏

我もし作者なりせば

広告 (*『週刊時局新聞』)

人物再検討

長谷川如是閑論

時事漫談

赤の他人

能智修弥氏の「婦人問題の基礎知識」(*転載)

童話 誰が救ふ

バイカル湖をめぐるブリヤート蒙古人の共和

国

川本勝男

O S P

青木為三

田中純一郎

蘆原英了

塩入亀輔

相馬大作

市川猿之助

南次夫

池部釣

深尾須磨子

山田清三郎

貴司山治

龜山源三

波多野千恵子

新橋亭弥十郎

新島繁

鶴見源三

河竹繁俊

波多野千恵子

新橋亭弥十郎

新島繁

鶴見源三

波多野千恵子

波多野千恵子

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|
| 40 | 38 | 37 | 35 | 32 | 31 | 29 | 27 | 25 | 24 | 22 | 21 | 20 | 18 | 17 | 15 | 13 | 12 | 9 | 5 |
| 41 | 39 | 37 | 34 | | 30 | 28 | 26 | | 23 | | | 20 | 18 | 17 | 15 | | 12 | 9 | 4 |
| 42 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

深尾須磨子女史著「葡萄の葉と科学」を読む(*転載) 杉田直樹

広告 (*『読書』三巻八号)

誰にもわかるAINシユタインの「相対性原理」

路地の葬ひ

波

恋香

女児服をあがなふ

或る青年の話

編輯後記

孤煙

鈴木清

若林つや子

木下歌子

立木布美

松田解子

鶴見源三

長谷川伸

中村星湖

戸川貞雄

山田清三郎

本山荻舟

森律子

岡田孤煙

黙阿弥と酒

紅葉の長唄

黙阿弥と酒

紅葉の長唄

黙阿弥と酒

43 42

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|---|---|--|----|----|----|----|----|----|----|--|--|
| 17 | 15 | 15 | 13 | 10 | 7 | 5 | 2 | | 64 | 58 | 55 | 53 | 51 | 49 | 44 | | |
| 18 | 17 | | 15 | 11 | 10 | 7 | 5 | | 63 | 57 | 55 | 53 | 50 | 48 | | | |

銀座をおし流す彼女等

プロの涼味

ブル氏の避暑

陸軍の新陣容

『求婚廣告』その他

歴代東京市長物語

水上生活二ヶ月の断片

キヤンプ長に推されて

連絡がついた！

吸取紙 学生控室 東都学生新聞概観

チ工号遭難者
チ工号無電技師

ロブザ女史

クレンケル

世田三郎

大倉八郎

木下歌子

富士辰馬

杉田直樹

杉田直樹

本誌編輯局

河本勝男

青木為三

大下晋平

4養蚕危機と臨時議会／5水害と旱魃

6世界戦争の二十周年
直接読者となれ！

木下歌子 編輯部

読書室 現代童話集

池部釣

小野沢亘

加藤悦郎

北村三郎

玉城肇

O D K

25 19 19 12 3 3

25 19 19 12 3 3

28 23 24

生きる
編輯後記

第一卷第五号

昭和九年十月号 一日発行

漫文漫画空襲！空襲！

漫文・世田三郎／漫画・小野沢亘

市電問題・特輯

市電争議と強制調停

大東京交通機関の統制へ

市電争議について諸名士はかく答ふ

高野隆 下村海南

赤神良譲 杉山平助

岡邦雄 加藤勘十

大塚金之助 新居格

上泉秀信 秋田雨雀

高島米峰 市川房枝

秋田雨雀 秋田雨雀

高島米峰 市川房枝

15 14 14 12 8 2 64 55

16 15 15 15 15 15 15 15

17 16 16 16 16 16 16 16

18 17 17 17 17 17 17 17

丸山義一
孤煙

高野隆 下村海南

赤神良譲 杉山平助

岡邦雄 加藤勘十

大塚金之助 新居格

上泉秀信 秋田雨雀

高島米峰 市川房枝

秋田雨雀 市川房枝

隨筆 電車の見えない電車通り

襲はんとする紙幣インフレ時代

広告 (*『週刊時局新聞』)

時の人と問題の人（内田鉄相山道裏）

世界一の飛行機製作技師アントとはどんな人

間か？

新芸者論

松竹レヴュを観る
二科展を見る

読者通信（一サラリーマン／吉田生／K・O
生／逗子生／Y生）

人物再検討 岡本一平論 「漫画論手引草」

の道すぢ

劇評 芝居月評

文化時評

1街の勇士風景／2文相のパパ・ママ論
3制服受難物語／4飯米差押へ禁止法案／
5ヒツトラーの大統領当選

6作品の政治性
直接読者となれ

ラヂオ評（演芸放送を中心に／ニュース演芸）

編輯後記 批判

直接読者となれ

河本勝男 大下晋平 河本勝男 沢美清太郎 岩松淳 丸山角夫

河本勝男 大下晋平 沢美清太郎 岩松淳 丸山角夫

中條百合子
長谷川光太郎
28
31
32
30
34
22
27

第一卷第六号 昭和九年十一月号 一日發行

世界・列強・独裁者 無軌道会議

時の人と問題の人

牛塚虎太郎 大橋忠一

高野隆 谷川浩 岡田復三郎

伊庭孝 新刊紹介 細田民樹著「犬吠岬心中」／上田進訳編「マルクス・エンゲルスの芸術論」／窪川稻子著「牡丹のある家」

実際に見て来た満洲国（＊文と絵）

随筆 台風と村の祭 空のスポーツ パラシユート

科学隨筆 転換期の自動車 支那婦人の先駆者 秋瑾女士の話

1ソ同盟の聯盟加入／2軍部のパンフ問題
3関西大風害の脅威

荒井陸男 丸山義二 佐野英訳 棚谷弥兵衛 沢山潤 河本勝男 西村成吉 浅川謙次 岡邦雄

21 22 25 28 32 36 40 45 49 50 18 16 14 21 17 16 2 13

新島繁 編輯部 華族小論 読者通信（渋谷一読者／一学生／渋谷生） 能智修弥氏著「婦人問題の基礎知識」を評す（＊転載） 国際ニュース 中華ソヴエート婦人の文化的向上

松田解子

155

ひとごとと我身のこと アンリー・バルビュース／大倉道太訳
エスペラントの起源 —ザメンホフ博士の誕生日
の記念に—

編輯後記

第一卷第八号 昭和十年新年号 一月一日発行

暁の一九三五年だ

労働者生活座談会（東京市バス運転手、同市電車掌、石鹼工、ガソリン・ガール、看護

婦、本社記者二名）

一人一殺 鮎川義介論

迎春隨筆

羅馬での新年の追憶 大吉祥裏の劉伯翁 金に徹底した或る支那人の話

猫と葡萄酒 ヨタ話のリアリズム

一人一殺 友松円諦論

文化時評

人権問題の意義 —社会大衆党の怪声明 —東北凶作地の救恤基金募集 —救恤の

後に来るものが重要だ—

第六十六臨時議会 —将して「災害救済」

議会たりえたか—

木村恒夫

河本勝男

緒方信吉

貴司山治

後藤朝太郎

荒井陸男

渋川徹

34

36

30

34

29

28

22

22

18

18

14

18

13

12

2

12

64

63

62

63

57

61

一人一殺 結城豊太郎論
批評家の客観的公正について
「高橋財政」とは何んなものか
ヒトラーの小僧
映画評論 現代映画界の途 —大になる期待
新春に際し敢えて苦言を呈す
を—

田中純一郎
戸坂潤
新居格
玉城肇
千葉亀夫
小林雄一
世田三郎
山崎清
戸坂潤

H
木下歌
新島繁
森山啓
逸名氏
藤森成吉
田辺茂一
秋田雨雀
下村千秋
上泉秀信
松田解子
玉城肇
戸坂潤
新居格
千葉亀夫
小林雄一
世田三郎
山崎清
戸坂潤

て—

モスクワの友へ —社会主義的リアリズムに就

童話 庄太の入学
スターインといふ人物
バスの車掌さん

ロマン・ロラン

H
木下歌
新島繁
如月敏

国際ニュース ソ聯第一回建築家大会について

木下歌
新島繁
森山啓
逸名氏
藤森成吉
田辺茂一
秋田雨雀
下村千秋
上泉秀信
松田解子
玉城肇
戸坂潤
新居格
千葉亀夫
小林雄一
世田三郎
山崎清
戸坂潤

64

65

64

65

58

63

56

57

54

55

52

53

53

53

52

52

51

51

51

51

49

50

49

51

45

48

38

44

一人一殺 千石興太郎論
宗教復興とインテリゲンチヤの問題について
の座談会

堀田義次

中條百合子

堀川稻子

貴司山治

河本勝男

岡邦雄

壺井繁治

54

61

53

61

『米穀自治管理』の話

台所にどう響く

菊田一雄

永見達

『饗宴／平凡な事実』

(＊狂詩)

日本新聞記者の寧都訪問記

世田三郎文

／朝野方夫絵

中野重治

新島繁

片岡鉄兵

壺井繁治

25

25

20

27

27

27

24

19

広告 (*山宮允『明治大正詩書綜覽』)

パンテエヂ・シヨウを見て
エスペラント欄 希望

愛情の紙片
母よ、さらば

編輯後記

ファデュエフ／加賀能一訳

ザメンホフ
本庄陸男

79 73 67

蘆原英了
映画紹介

ソヴエート・学校点描

科学隨筆

豆砲星

『文学古典の再認識』のために

(＊再録)

三成物語

豆砲星

講座

日本近代陸軍の発達史 (三)

日英米に建艦競争起るか?

長屋スケツチ

二十五年前の雑誌『進歩』

早春

『文学古典の再認識』を読んで

エスペラント欄 演説

編輯後記

西村成吉
エヌ・リヤーフ

貴司山治
南次夫

浜口鶴雄
梶谷弥兵衛

小島豊子
秋田雨雀

孤煙
西村成吉

細野孝二郎
44

貴司山治
49

牛込区H生
42

ザメンホフ
38

41

43

41

37

34

31

30

29

27

27

27

24

16

19

議会と鵜呑み
インチキ宗教めぐり
文化時評 モヒ中毒患者の増加について／豆
まき興行／『男装の麗人』／小学教員の内
職問題／中條百合子氏の『正式結婚』につ
いて

森田天渓
O 生
壺井繁治

15 10
15
15

2 1
9

80 74 68 64 63 62
79 73 67

『ひとのみち』の巻
『文学古典の再認識』を読んで
エスペラント欄 演説
編輯後記

細野孝二郎
牛込区H生
ザメンホフ
44

78 77 72 71 66 58 50
79 77 71 65 55 41

49
43
41
37
34

第二卷第四号 昭和十年四月号 一日発行 (通巻11号)

卷頭言 今春の社会色
天皇機関説問題に就て 鈴木安蔵氏にきく
わが郷土を語る
村のスケッチ (静岡)
蘭菫景気 (島根)
土地を廻る紛争 (秋田)
『だんまり』の論理 —わが農民生活見聞
故坪内博士と映画
社会時評 『非常時』強盗の氾濫／「腹」の
哲学／宗教家と軍人の握手
幕末日本の科学者物語 洋食を喰つた大名の話
科学隨筆 タイヤーのロマンス
『私の貴ひ度いお嫁さん』～安部さんの放送～
陸軍異動評 石川闇の台頭
ぼくらのスクラップ ハチ公は忠犬か／争議
指導者から重役へ／美濃部博士告発状
文化時評 八十の手習ひ ロシアと日本のお
婆さん
上泉秀信氏戯曲集『村道』
イロハかるた今様見立て

世田三郎文／朝野方夫絵

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|
| 35 | 34 | 32 | 30 | 29 | 25 | 25 | 20 | 16 | 15 | 9 | 7 | 6 | 2 | 1 |
| 38 | | | | | | | | | | | | | 5 | |

豆砲星

いんちき宗教めぐり 『ひとのみち』の巻(二) 森田天渓

ソヴェートの刑務所訪問記 開放された大農

場『五月一日』 フォン・ケルバア女史／大下晋平訳

町の話・村の話
其後の地区 (小樽)

義金の使途 わが村ではどうか (山形県) 岩本一夫

文芸時評 島木健作の評価について 沼沢亮一

都新聞評 『文学古典の再認識』を評す 平野謙一

—その先駆的な役割—

創作 出発

エスペラント欄 演説 —つづき—

編輯後記

立野信之

橋本英吉

杉内いち

13、

14、

9、

7、

貴司山治

梶谷弥兵衛

北村三郎

玉城肇

堀口豊

特輯 転換点に立つ国際対立

水野広徳氏との一問一答 —最近の日ソ外
交について—

ナチス・ドイツの再軍備 (*写真二枚)

最近に於ける欧州政局の動向 —ヒトラー
の『爆弾宣言』を中心にして—

河本勝男

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10 | 9 | 6 | 2 | 78 | 76 | 59 | 58 | 54 | 52 | 51 | 46 | 40 | 39 |
| 16 | | | 5 | | | | | 58 | 53 | 52 | 50 | 45 | |

| | | | | | | | |
|--------------------------------------|--------------|----------|-------------|----------|----|-------|-------|
| 日支提携問題について 英仏協約について | ヴィクトール／筠川文雄訳 | 杉田重夫 | | | | | |
| 婦人問題の二著 「婦人問題の基礎知識」／ 「葡萄の葉と科学」 | | | | | | | |
| 広田外相の横顔 | | | | | | | |
| 実際法律から見た美濃部氏処分問題　—不作 | 山本正一 | | | | | | |
| 為共犯について— | 美杉喜八 | | | | | | |
| インテリゲンチヤと専門家について　—レエ | | | | | | | |
| ニンと語る— | | | | | | | |
| 広告（＊『文学評論』五月号） | | | | | | | |
| 第六十七議会と今後の経済界 | | | | | | | |
| 秋田雨雀氏と一問一答　—故坪内逍遙について | 木村禧八郎 | | | | | | |
| ソヴェトで人心撮影機發明さる | エム・ゴルキイ | | | | | | |
| 坪内逍遙先生の片影 | 秋田雨雀 | | | | | | |
| 兵隊さん用語 | 江口涣 | | | | | | |
| 豆砲星 | 後藤宙外 | | | | | | |
| 広告（＊『詩精神』五月号、詩人祭、詩人叢書『ブランバコ中隊』） | 新島繁 | | | | | | |
| 十週年を迎へたソヴェート・ラヂオ | 中島清之助 | | | | | | |
| 人類の進歩に役立つ人々　地動説を主張したコペルニクスの話 | | | | | | | |
| 高橋作左衛門物語　黎明日本のために闘つた科学者（二） | | | | | | | |
| 世田三郎文／朝野方夫繪 | 貴司山治 | | | | | | |
| 52 48 | 47 44 | 43 40 39 | 38 36 36 34 | 30 29 26 | 24 | 23 22 | 20 16 |
| 55 55 | 55 | 55 | 55 55 55 | 55 | 55 | 25 | 55 |
| 54 51 | 46 | 42 | 38 38 35 | 33 | 28 | | 22 19 |

第二卷第六号

昭和十年六月早

一日發行

(通卷13号)

卷頭言 特輯 今日の封建性
我が立憲政治の「封建性」
現代思想に於ける封建性的問題
文学に於ける「封建性」
日本資本主義の性格
アメリカ学生の反戦示威 参加者十五万人

大
立田信夫
大下晋平
船山信一
鈴木安藏

| | | | | | |
|----|----------|----------|----------|---------|----------|
| | | | | | |
| 21 | 27 29 | 22 26 | 14 26 | 2 21 | 13 13 |
| | | | | | |

ヒットラー治下のドイツ学生
復古的潮流について

昔の鎖国と今の鎖国

スターリン氏とウエルズ氏

「文学古典の再認識」(*再録)

京大事件二週年

電報一本で雨を降らせる

文化時評

監視される中学生

科学隨筆

最高速度の自動車

アメリカ作家大会について

名著物語

ベーベルの「婦人論」

豆砲墨

ソヴェート、ロシアの将棋熱

講自由主義征伐

人類の進歩に役立だつた人々 全面的人間の

典型 レオナルド・ダ・ヴィンチの話

日本新聞のソ聯邦記事

インチキ宗教めぐり 『金光教』の巻

アキレ返つた

モスコーの地下鉄

中條氏のバルザック評

読書室

玉城肇著 「日本家族制度批判」への希望

「歐州文芸の歴史的展望」を読んで

エスペランソ欄 サルートン・エスペランテ

イスト

美濃部亮吉
千葉龜雄

戸坂潤
貴司山治

梯明秀

木村恒夫
梶谷弥兵衛

玉城肇
柾不二夫

木村恒夫
梶谷弥兵衛

戸坂潤
貴司山治

梯明秀

木村恒夫
梶谷弥兵衛

戸坂潤
貴司山治

木村恒夫
梶谷弥兵衛

木村恒夫
梶谷弥兵衛

木村恒夫
梶谷弥兵衛

木村恒夫
梶谷弥兵衛

木村恒夫
梶谷弥兵衛

木村恒夫
梶谷弥兵衛

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 82 | 80 | 79 | 76 | 75 | 70 | 69 | 64 | 63 | 62 | 61 | 57 | 56 | 54 | 50 | 49 | 42 | 41 | 38 | 36 | 33 | 30 |
| 82 | 81 | 81 | 79 | 75 | 69 | | | 63 | 60 | 60 | 56 | 53 | | | 49 | 41 | 37 | 35 | 32 | | |

第二卷第七号 昭和十年七月号

一日発行 (通巻14号)

河本勝男

</

イ号墜落の報に接して――

科学随筆 交通整理はどうしたらよいか

小学児童の校外労働

豆砲墨

世界情報

朱徳は「戦死」したか?

忘れられゆく災害地――台湾震災地のその後

の状況――

ソヴェート・ニュース

名著物語『ローザ・ルクセンブルグの手紙』

『文学古典の再認識』について

『冬を越す薔薇』を読んで

現代宗教批判講話

大恐慌とその政治的結果

詩集『沙漠の歌』と歌集『地図を描く鳥』

日本のダビンチ平賀源内 黎明日本のために

闘つた昔の科学者(四)

人類の進歩に役立つた人々 党派性詩人の典

型の ダンテ・アリギエリの話

編輯後記

壺井繁治
梶谷弥兵衛

土方定一

中野忠夫

アグネス・スマドレー／中野忠夫訳

楊達

玉城肇

本庄陸男

細野孝二郎

田辺惣蔵

新島繁

野村多喜雄

貴司山治

細野孝二郎

田辺惣蔵

新島繁

野村多喜雄

貴司山治

新島繁

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 89 | 83 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 73 | 70 | 69 | 67 | 64 | 62 | 61 | 58 | 54 | 52 |
| 88 | 82 | | | 78 | 77 | 76 | 74 | 72 | | 69 | 66 | 63 | 60 | 57 | 53 | |

現代文化社版『進歩』について

欧文題号は「LA PROGRESO」。創刊号表紙には「現代文化の綜合雑誌」とあり、二号以降は毎号、「総合文化雑誌」と銘打たれている。

昭和九年六月の創刊号以降、翌年七月の二巻七号まで毎月一日付けて計十四冊刊行された。以後の号は未確認。なお昭和十年一月一日

発行の号は「一巻八号」で、翌月号は「二巻二号」。「二巻一号」は存在しない。現代文化社発行（代表岡田復三郎）、編輯および発行人

は隅福寿、発行所住所「東京市京橋区銀座西八ノ五（日吉ビル）」は一貫している。印刷所は最初、東洋印刷所、一巻八号から松田印刷所、二巻六号・七号は京橋巧芸社。定価は十銭。一巻八号から二十

銭。表紙は小野沢亘。一巻五号から伊原宇三郎。二巻二号から朝野方夫。同志社大学人文科学研究所・京都大学人文科学研究所所蔵原本を参考した。

(村田裕和)